

平成 25 年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受 託 申 請 書 >

ふりがな 団体名	ぼうちようへき じっこういんかい 防潮壁メモリアル実行委員会						
ふりがな 代表者名	こ ばやし よし か 小 林 由 佳						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / 第②期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	【 ○ 】 心地よく安心な港まちで暮らす						公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	【 △ 】 魅力的でにぎやかな港まちに集う						
	● 【 □ 】 みんなと港まちを創る						
提案事業名	旧防潮壁の修景事業						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	8	3	0	5	0	0	円
期間 (準備～事業終了日)	平成 25年 10月 1日 ~ 平成 26年 2月 20日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

西築地学区内に江川線を挟んだ東西にその役目を終えた高潮防波堤(旧防潮壁)が放置されている。この不要になった旧防潮壁を住民のアイデアをもとに修景し、清潔で愛着の持てる街づくりの一環として行う。この防潮壁の壁画は目玉事業として位置づけている。

2年に1度ではあるが、12年に渡り継続して行っている事業なので、地元の期待も大きく、また、地先住民や沿道の会社関係者には大変好評で、最近では結婚式場の出席者からの評判も良い。

(2) 事業の概要

江川線西側の旧防潮壁の北側に、西築地小学校6年生児童に総合学習の時間を利用し、卒業記念製作としてペンキで絵を画いてもらう。絵については、@ポートなどこれまで西築地学区に関係のあったアーティストにお願いし協働で検討・創作し、テーマ性を持たせたものとする。絵の理解と末永く親しまれるよう説明用銘版も設置する。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

アーティストと西築地小学校6年生児童との協働による絵の具による描画。

描画のテーマについては、アーティストと小学校児童が事前に話し合いを持ちながら決定し、その内容に基づき描画を総合学習の一環として行う。

なお、今回描画する壁画の位置については、一昨年の描画をもって西側の最終地点まで到達したので、メモリアル実施当初から計画していたとおり、今年度よりスタート地点から絵を書き換える。スタート地点の絵については描画から現在まで丸11年経過しており、塗装面の劣化が著しく、塗膜も剥がれてきていることから、今回描画し直すことでさらなる魅力向上をはかる。

描画する壁面は、江川線より西側でバスターミナルへ向かう中央階段の両側約20m部分であるが、今後この事業を毎年実施することと、卒業記念制作をより全面に打ち出したいため、6年生児童のみが描くことから、中央階段西側約10m部分を描画することとし、東側10m部分は白く残す。

また、多くの犠牲者を出した東日本大震災による津波被害では、想定外の高さの津波ではありましたが、防潮壁の存在や大切さ、今まで果たしてきた役割等、児童に向けた学習を実施する。

参加アーティスト

杉浦 良平(すぎうら りょうへい) 2009年 名古屋造形大学 造形芸術学部 美術学科 卒業

ユネスコクリエイティブシティネットワーク(UCCN)の枠組みの中で開催されるコンペで2010年に行われたポスターデザイン・コンペティション[名古屋]で見事グランプリを獲得し、ユネスコのメダルが授与された。

受賞歴

2007年 A-net compilation store postcard design 宇津木賞(宇津木えり) 受賞

2007年 CBC TV 主催 二十歳の記憶展 愛知県教育委員会賞 受賞

2008年 卒業制作 桃美会賞 受賞

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

25年10月中に下地処理～壁面作成(白色)、この間に児童とのワークショップを実施

11月中にアーティストによる下絵作成

12月中旬頃の午前中1時間を児童の描画実施日とし、雨天の場合は順延

26年 1月中にアーティストによる仕上げと壁面のコーティング(透明)

実施場所は、江川線西側の旧防潮壁の一部で、名古屋港2番出口バスターミナル北側連絡階段部分両側(児童の絵は2面の内西側1面のみ)

3. 想定参加者人数・参加者層

西築地小学校6年生 約40名

学校関係者 5名

実行委員 5名

PTA 保護者 10名

約60名

(4) 広報手段

西築地学区連絡協議会において、広報チラシの回覧をお願いする。
新聞への折り込み広告による広報
マスコミへ情報提供し、取材していただく

まちづくり広場・東海2013(主催(一社)日本建築学会東海支部都市計画委員会)において、我々の行ってきた防潮壁メモリアル事業をPRします。(9月3日～8日、名古屋都市センター11Fにて)

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

25年10月上旬～下旬	小学生とアーティストの話し合い。ワークショップを数回実施
10月上旬～下旬	壁面の下地処理～描画面作成(白色)
11月上旬～下旬	アーティストの下絵作成
12月中旬	小学生(約40名)による描画
1月中旬	アーティストによる仕上げ
1月下旬	壁面コーティング塗装(透明)
2月中旬	銘盤設置、メモリアルパンフ完成

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

防潮壁メモリアル実行委員会がすべての計画・立案を行う。

事前にアーティストと学校・児童側との打ち合わせを数回持って作画の構図や当日の役割を決定する。

防潮壁面の下地作業は、アーティストの下絵作画の数日前までに委託業者が実施する。

当日は、アーティストの指導のもと生徒による描画を行なう。
その際、実行委員会メンバーを中心として養生作業やペンキの補充などをする。
また、ガードマンを2名配置して交通整理にあたる。

完成後参加者や関係者の名前を記した銘盤を壁面に設置する。

準備段階から報道関係などによる取材を積極的に呼びかける。

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

既に小学校とは総合学習の一環として実施することで調整済みであり、担当するアーティストにも内諾を得ている。また、委員長が小学校 PTA 会長であることから、打合せなども容易である。
当日の実施には、道路占用許可書の取得や関係諸官庁への届け出が必要になるが、これまでも取得しており問題はない。一昨年に実施した際の役職者で構成されており、これまで実施してきた夢塾21のメンバーの協力も頂けるので問題はない。

(2) 積算の妥当性

過去2回にわたる提案公募事業実績をもとに積算しており、妥当である。
下地処理の費用や描画面の塗装費用は、状態や面積にて価格が変動するため、その都度見積もりを取っている。

(3) 公益性・社会貢献性

地域住民や地域で働く人々にとって、毎日目にする無味乾燥なコンクリートの壁が、地元小学生の絵により美しくよみがえることは、大変意義深いと考える。

(4) テーマとの整合性

暗い防潮壁がきれいになり、愛着の持てる街づくりに寄与できる。小学生にはスケールの大きい創作活動が体験できるとともに、成人式まで絵は保存され、地域での思い出として子ども達の心にいつまでも残ることが期待できる。また、多くの犠牲者を出した東日本大震災による津波被害では、想定外の高さの津波ではありましたが、防潮壁の存在や大切さを子ども達に知らせ、伊勢湾台風で甚大な被害を受けた当学区の歴史を振り返るとともに防災意識の向上を図ることが期待できる。

(5) 将来性

防潮壁という港ならではの構築物を修景することは、「港の魅力づくり」という観点から大いに貢献できると確信する。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
①外部講師謝金		1	5	0	0	0	円
②旅費交通費			1	2	0	0	円
③会議費			5	0	0	0	円
④物品購入費		1	6	6	5	0	円
⑤借上料							円
⑥保険料				2	0	0	円
⑦人件費							円
⑧委託外注費		3	5	0	0	0	円
⑨通信費				5	0	0	円
⑩印刷製本費			8	0	0	0	円
⑪事務費等			1	5	0	0	円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)		8	3	0	5	0	円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項 目		経 費 の 内 訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。	
①外部講師謝金		アーティスト1名への謝金 日当1万円(交通費含む) 打合せ(半日×6回)下絵作成(10日)仕上げ(2日) 計15日	
1	50000	円	
②旅費交通費		スタッフ交通費 1日1,000円×2名×6日=12,000円	
1	2000	円	
③会議費		コミュニティーセンター等会議室使用料 1回1,500円×6回=9,000円 飲み物代 105円×50本×6回=31,500円 茶菓子代 9,500円	
5	0000	円	
④物品購入費		ペンキ代 3,150円×30缶=94,500円(子ども用含む) 刷毛大300円×15本=4,500円、小150円×10本=1,500円 子ども用筆太40本細40本 200円×80本=16,000円 台車、脚立、ブルーシート、合羽、バケツ等 50,000円	
1	66500	円	
⑤借上料			
		円	
⑥保険料		イベント保険 100名以下1日間に該当する保険を使用	
2	0000	円	
⑦人件費			
		円	
⑧委託外注費		壁面下地処理 50,000円 下地塗装(白)及び上塗り(クリヤー) 125,000円 作品説明用銘盤 40,000円 交通整理ガードマン(2名)35,000円 メモリアルパンフ作成委託費 100,000円	
3	50000	円	
⑨通信費		案内状等送付切手代等	
5	0000	円	
⑩印刷製本費		防潮壁メモリアル活動チラシ(2,000枚)30,000円 防潮壁メモリアル記念パンフ(1,000部)50,000円	
8	0000	円	
⑪事務費等		会議資料作成費用(印刷、コピー代)10,000円 事務用品購入費用 5,000円	
1	5000	円	
総支出合計=A		1ページ・5ページのAと同額かご確認ください	
8	30500	円	